



2019年3月期
第1四半期
連結決算説明資料



EIZO株式会社

証券コード:6737

2018年7月31日

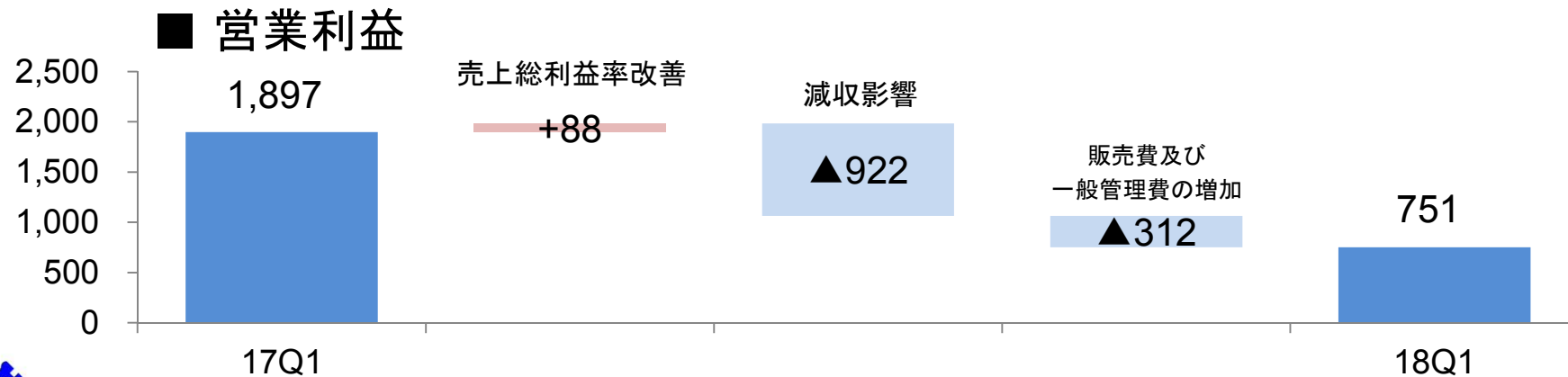
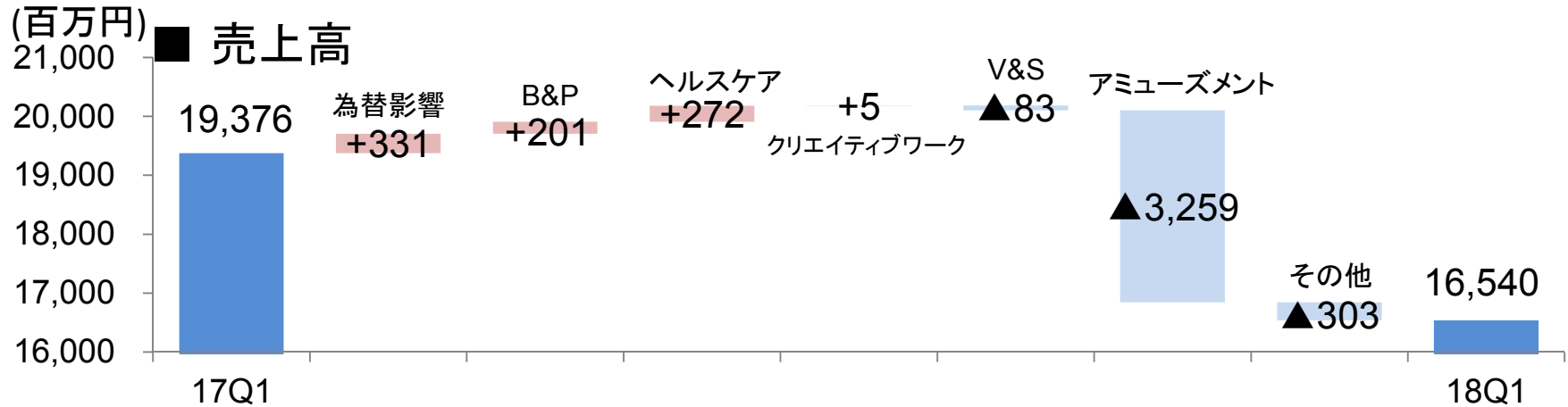
連結損益計算書

(百万円)

	17Q1		18Q1		前年同期比 (%)
	金額	売上高比(%)	金額	売上高比(%)	
売上高	19,376	100.0	16,540	100.0	85.4
売上原価	13,077	67.5	11,075	67.0	84.7
売上総利益	6,298	32.5	5,464	33.0	86.8
販売費及び一般管理費	4,401	22.7	4,713	28.5	107.1
営業利益	1,897	9.8	751	4.5	39.6
営業外損益	642	3.3	291	1.8	45.4
経常利益	2,540	13.1	1,042	6.3	41.1
税金等調整前利益	2,540	13.1	1,042	6.3	41.1
親会社株主に帰属する利益	1,822	9.4	703	4.3	38.6
為替レート：USD	111.09円		109.10円		▲1.99円
為替レート：EUR	122.26円		130.03円		+7.77円
(参考)為替感応度			USD	プラス 110百万円	
(為替相場1円の変動(円高)により、営業利益に与える年間影響額)			EUR	マイナス160百万円	

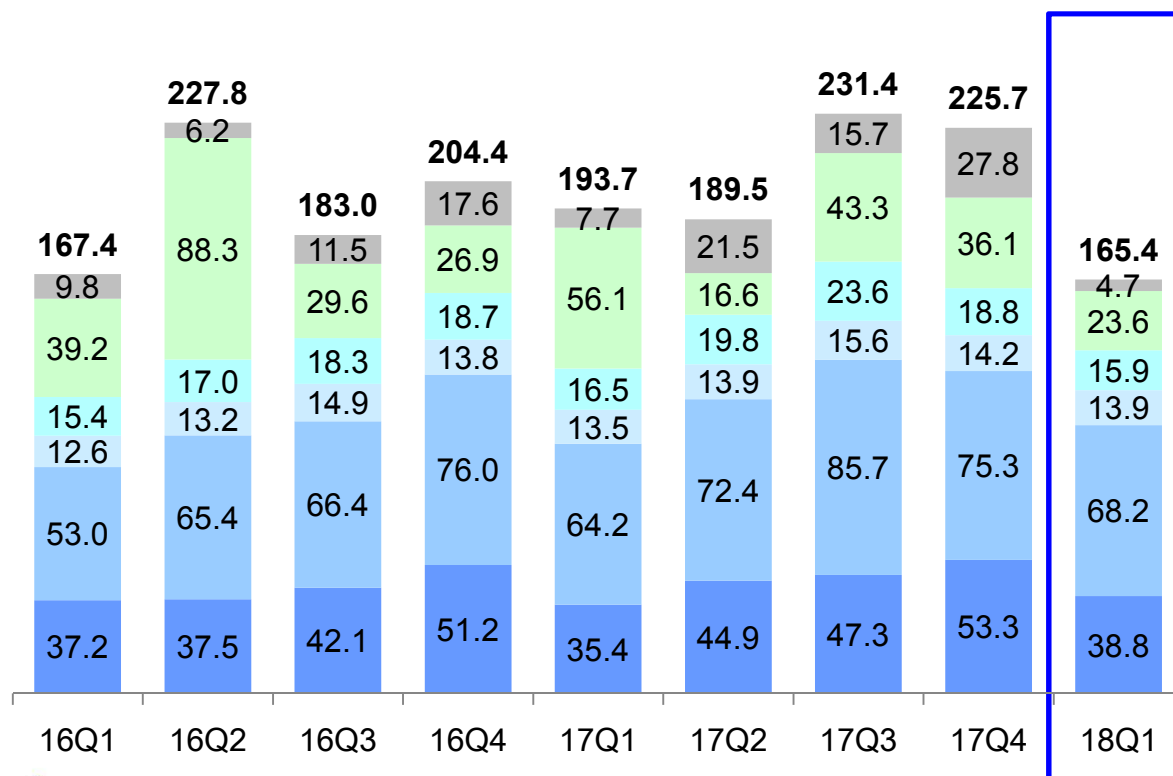


売上高・営業利益増減要因



売上高推移

(億円)



■ 前年同期比

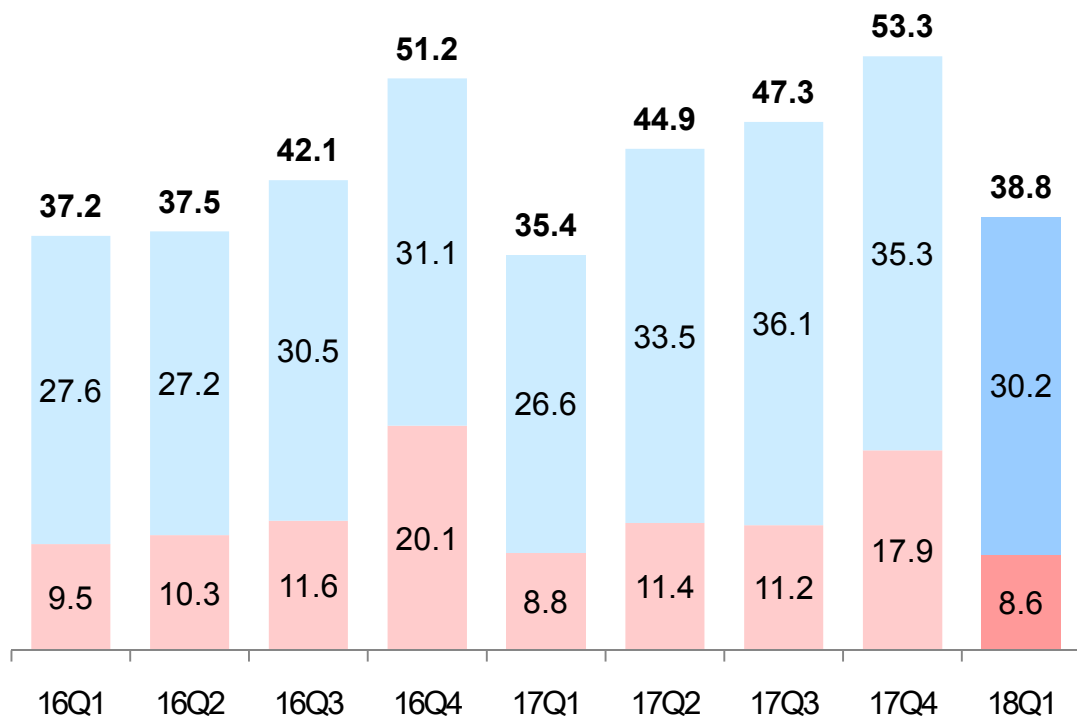
- 全体 : 85.4%
- その他 : 61.0%
- アミューズメント : 42.0%
- V&S : 96.6%
- クリエイティブワーク : 103.2%
- ヘルスケア : 106.2%
- B&P : 109.5%



市場別売上高推移：B&P

(億円)

■ 国内 ■ 海外



FlexScan EV2430

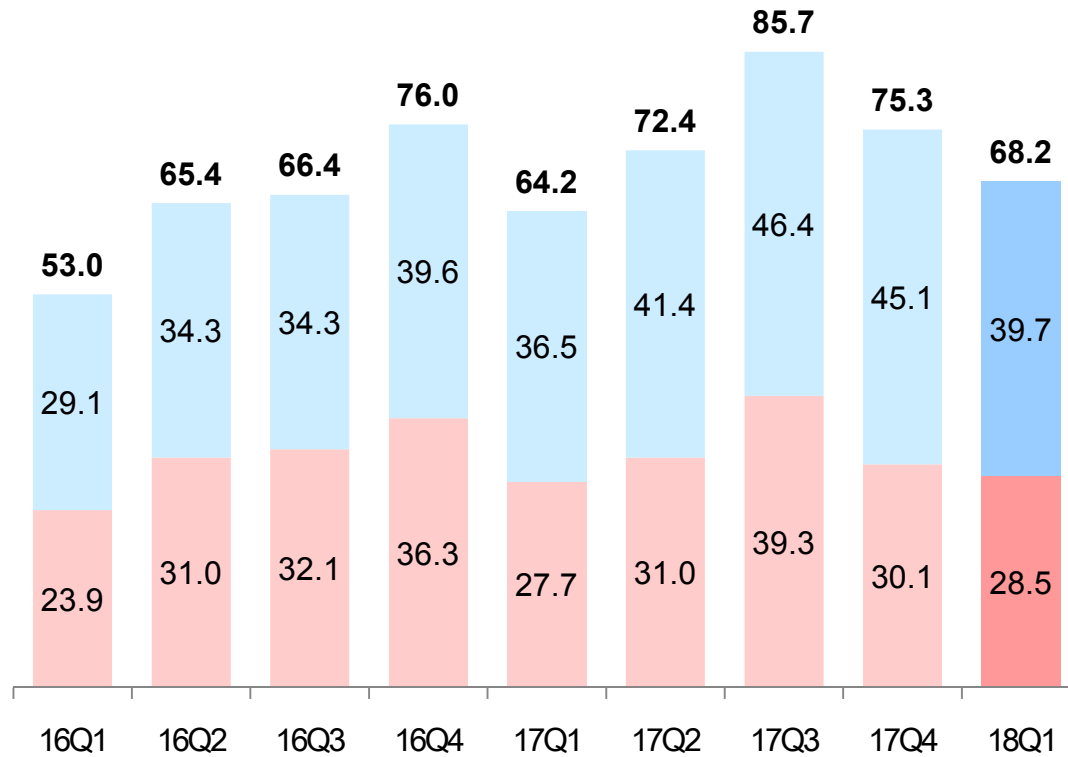
- 全体：前年同期比 109.5%
- 海外：同 113.6%
 - ・欧州を中心にフレームレスモニターの販売が引き続き好調に推移
- 国内：同 97.4%
 - ・大型サイズの販売が増加し前年同期並み



市場別売上高推移：ヘルスケア

(億円)

■ 国内 ■ 海外



■ 全体：前年同期比 106.2%

■ 海外：同 108.7%

- 欧州及び北米を中心に増加
- 診断用途や内視鏡用モニター、手術室向けの販売が堅調に推移

■ 国内：同 103.0%

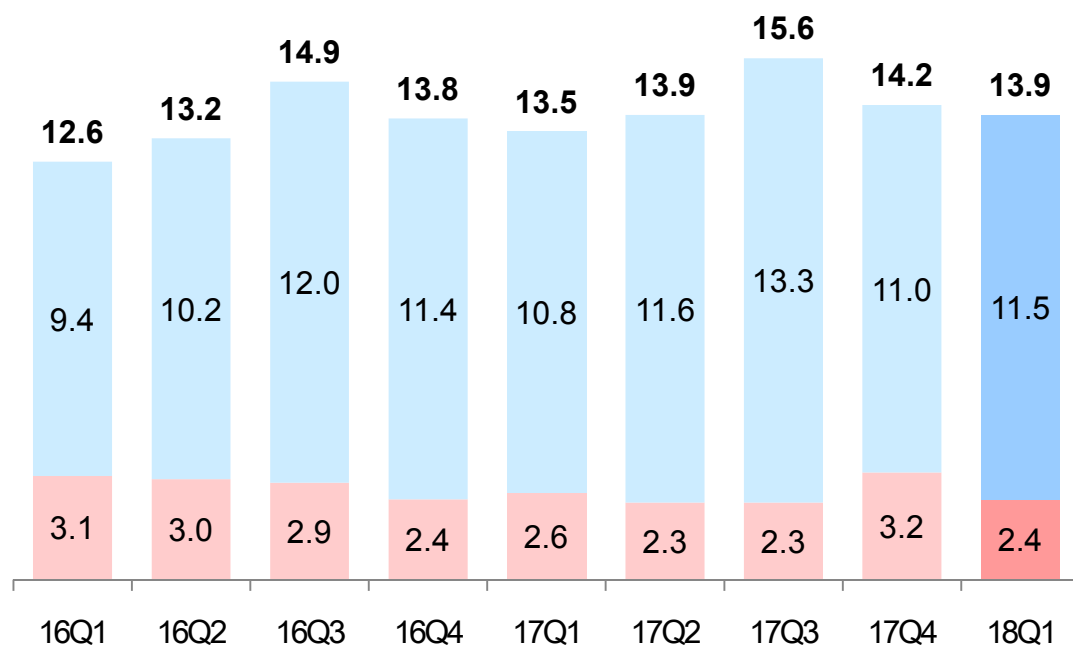
- カリーナシステム(株)の買収効果で増加



市場別売上高推移:クリエイティブワーク

(億円)

■ 国内 ■ 海外



ColorEdge CG319X

■ 全体：前年同期比 103.2%

■ 海外：同 106.1%

- ・プロフェッショナル向けの販売が増加、特にHDR対応モニターが順調に推移

■ 国内：同 91.2%

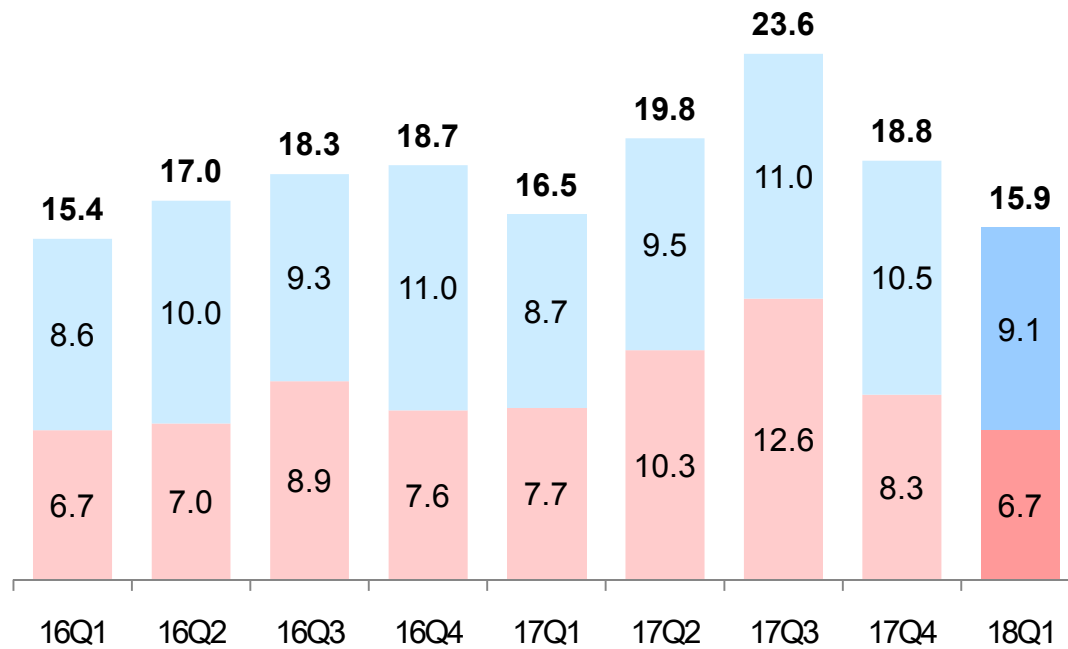
- ・映像製作分野向けの売上堅調
- ・エントリーモデルの訴求を継続



市場別売上高推移: V&S

(億円)

■ 国内 ■ 海外

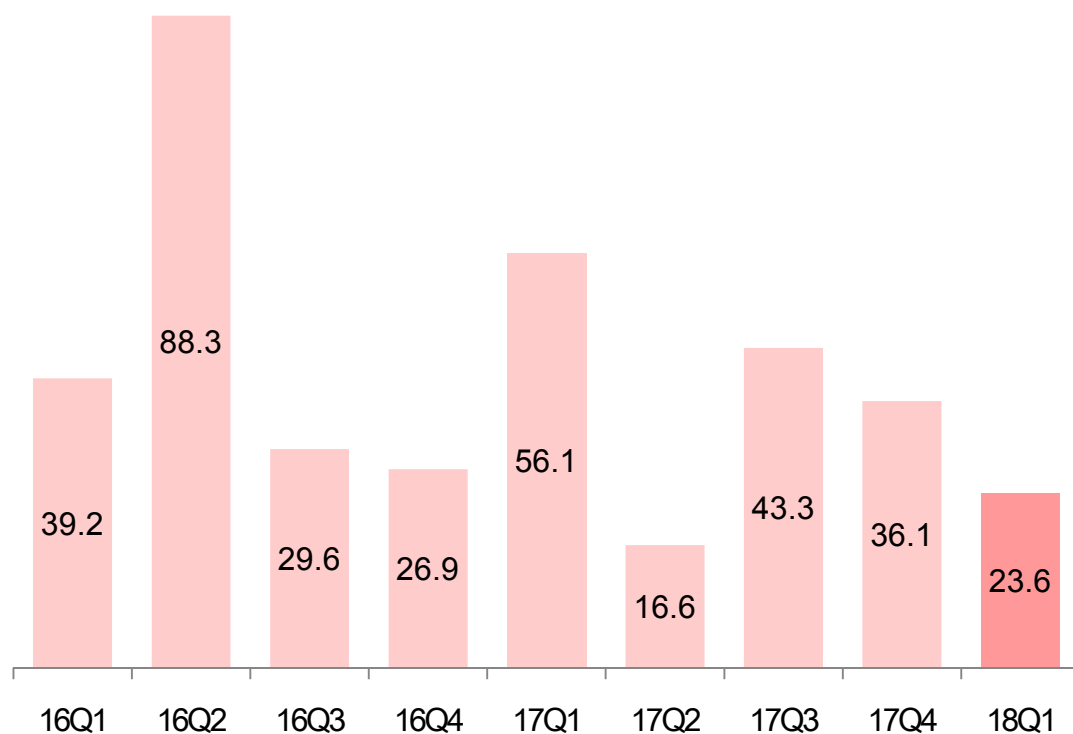


- 全体：前年同期比 96.6%
- 海外：同 104.5%
 - 監視用途の販売が増加
- 国内：同 87.7%
 - 監視及び船舶用途の販売堅調
 - 前年同期に金融システム向けモニターの大型案件あり、減収



市場別売上高推移: アミューズメント

(億円)



©SANYO BUSSAN CO.,LTD.

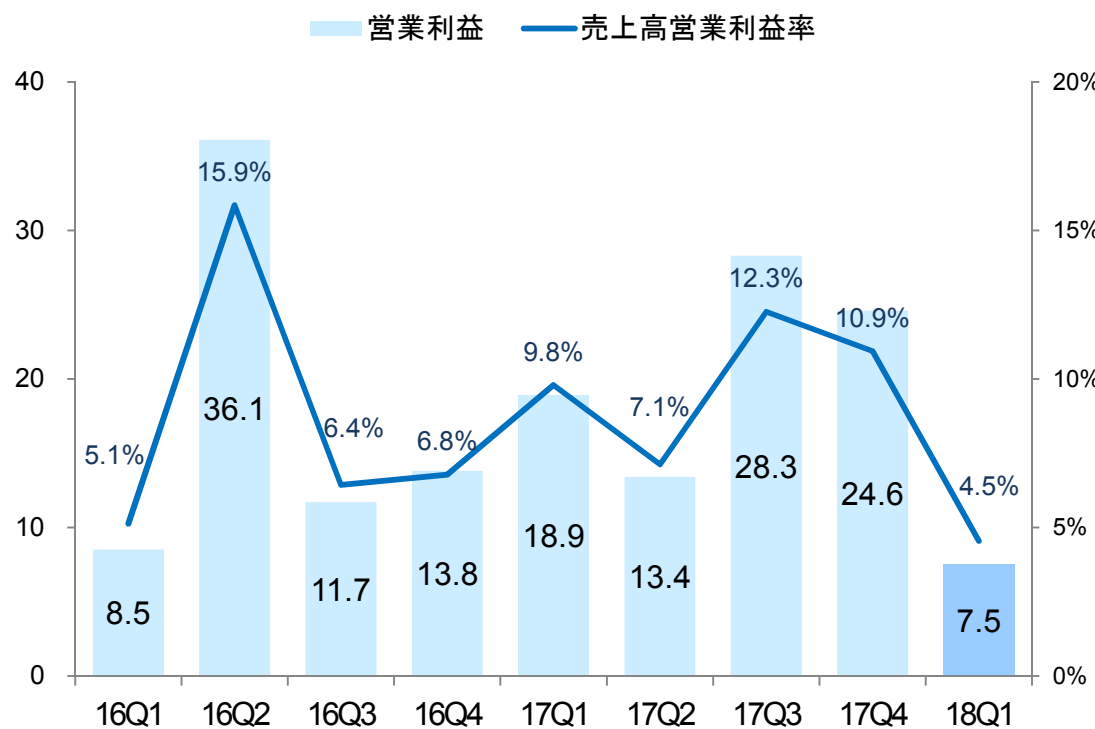
■ 前年同期比 42.0%

- 規則改正の影響で市場全体が停滞
前年同期を大きく下回る



営業利益推移

(億円)



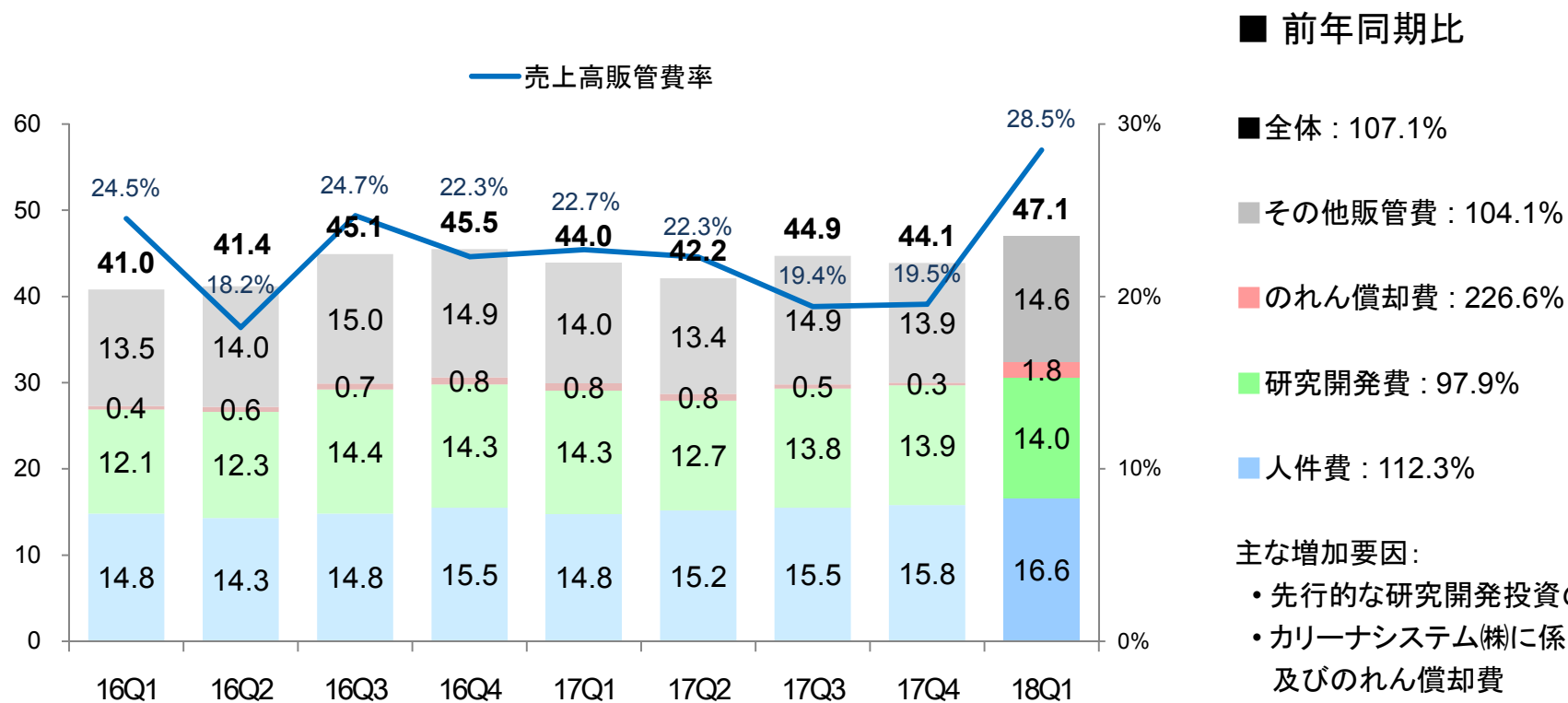
■ 前年同期比 39.6%

- アミューズメントの減少及び
先行投資やのれん償却費等による
販売費及び一般管理費の増加により
営業利益は減少



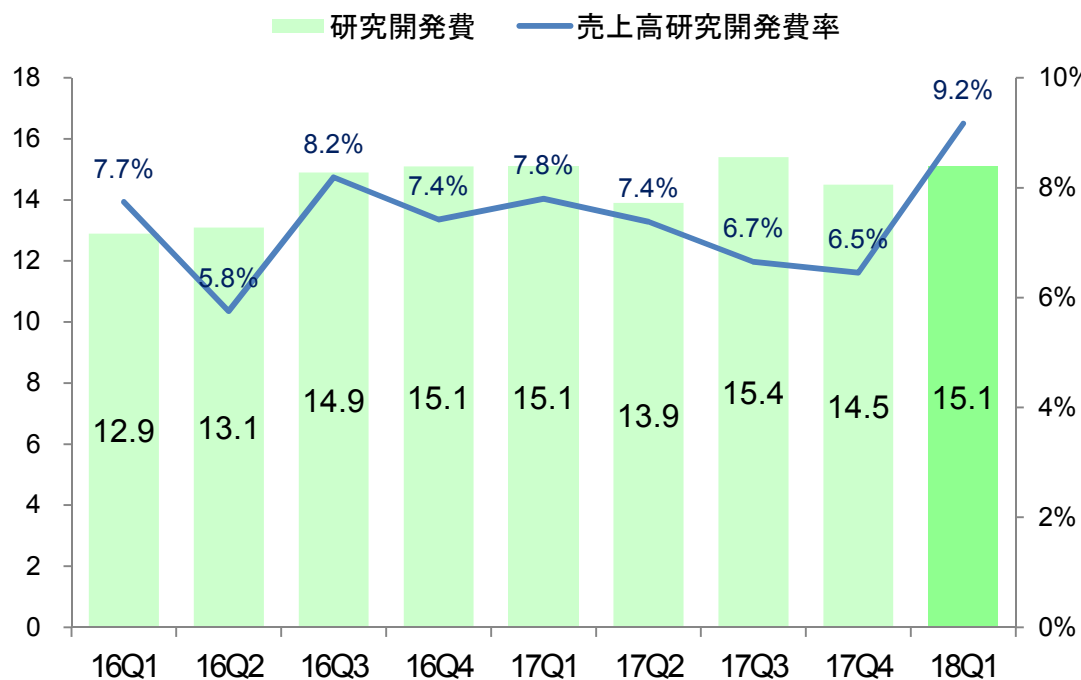
販売費及び一般管理費推移

(億円)



研究開発費推移

(億円)



■ 前年同期比 100.3%

- 先行投資は前期に引き続き高水準
- カリーナシステム(株)新規連結により増加
- 一方で、前年同期の内視鏡用モニター新規開発が一巡

※研究開発費は製造費用計上分を含む



連結貸借対照表

(百万円)

	18年3月末 (前期末)		18年6月末 (当第1四半期末)		前期末比
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	増減額
現金及び預金	8,394	7.0	9,187	7.5	+792
受取手形及び売掛金	22,538	18.9	16,131	13.2	▲6,406
たな卸資産	24,777	20.8	25,451	20.9	+674
その他の	13,326	11.2	14,674	12.0	+1,347
流動資産	69,036	57.9	65,445	53.6	▲3,590
有形固定資産	12,171	10.2	12,634	10.4	+462
無形固定資産	3,930	3.3	3,676	3.0	▲254
その他の	34,189	28.7	40,248	33.0	+6,059※
固定資産	50,291	42.1	56,559	46.4	+6,267
資産計	119,328	100.0	122,005	100.0	+2,676
買掛金	7,619	6.4	6,075	5.0	▲1,544
その他の	11,039	9.3	9,381	7.7	▲1,657
流動負債	18,659	15.6	15,456	12.7	▲3,202
固定負債	9,147	7.7	11,089	9.1	+1,942
純資産	91,521	76.7	95,458	78.2	+3,937
負債・純資産計	119,328	100.0	122,005	100.0	+2,676

※ 投資有価証券の評価額の増加



市場区分一覧

市場区分	使用用途・場所
Business & Plus (B&P)	<ul style="list-style-type: none"> ● 金融機関 ● 公共機関 ● 文教施設 ● 一般オフィス ● ハイエンド・ホームユース
ヘルスケア (HC)	<ul style="list-style-type: none"> ● 医用画像 ● 診断用途 ● 手術室用途
クリエイティブワーク (CW) グラフィックス用途向け	<ul style="list-style-type: none"> ● 出版・印刷・写真編集 ● 映像制作
Vertical & Specific (V&S) 様々な環境下で使用可能な多様な業種・分野向け	<ul style="list-style-type: none"> ● 航空管制 ● 船舶 ● 監視 ● その他産業分野
アミューズメント (AMU)	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他 (OTH)	保守サービス及びソフトウェアの受託開発



－注意事項－

当資料には、当社または当社グループ会社の将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載は、為替変動、需要変動、開発・生産能力及びその他のリスクや不確定要素を含みますので、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、実体的に異なる場合があります。

また、当社は法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。

※資料内の会計期間の表記は“Q”を用いております。2019年3月期第1四半期は“18Q1”となります。

本資料に関するお問合せ 担当：IR室 有生(ありせ) TEL：076-275-4121
<http://www.eizo.co.jp>